

祐善寺だより

第39号

発行日

2017年10月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

子ども報恩講 & 納涼祭を開催!!

◆子ども報恩講

「子ども報恩講」が、七月二十三日に今年、初めて行われました。

「正信偈」のお勤めの導師も、仏様なぞなぞクイズも、誓いの言葉も全て三人の子どもたちが中心に進めてくれました。小さな子どもたちも全員「子どもおつとめ本正信偈」を頂き、外陣でお参りしてくれました。



正信偈同朋奉讀式のお勤めの導師は野村知世さん



仏様なぞなぞクイズの進行は、野村健太郎くん



緊張感が漂う中でのスタートでしたが、参詣者の方々の笑顔での頷きや温かい眼差しのお陰で、いい「子ども報恩講」のお勤めが出来ました。時折、強く降る雨の音が聞えましたが、皆さんと共に「恩徳讃」を唱和して無事終える事が出来た時、「本当に良かった。ありがたい」と手を合わせました。

六年生の野村知世さん、野村健太郎さん、三年生の渡邊芯さんの三人

が、当日も本堂で真剣に話し合っている姿を目にしました。心を一つに合わせる事の大切さを感じる尊い姿でした。



ちかいの言葉は、渡邊芯くんが担当

全ての方々に礼申し上げます

(桑原文子)



「祐善寺納涼祭2017」開催!!

◆納涼祭

去る七月二十三日(日)に毎年恒例となりました祐善寺納涼祭が行われました。焼き鳥や流しそつめん、餅つきと、おなか一杯。その後、ゲームコーナーでは、ヨーヨー釣りやスマートボールすくい、ビンゴゲームと、子ども大人も一緒に楽しむことが出来て、参加された方々から大変喜んで頂きました。

仏様のもとで、共に喜び共に楽しむ大変すばらしい納涼祭であったと思つたことです。

私も、この歳になつて思つたことは、



今年初登場のヨーヨー釣りやスマートボールすくいにも、子どもたちが群がりました!



餅つき大会は、祐善寺納涼祭のメインイベントのひとつ!



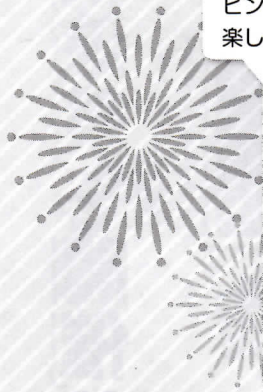
流しそつめん、は、納涼祭には欠かせない!



寺は悲しみや苦しみを持つて上山し、仏様の前で先祖と向き合い自分の悩みを打ち明け、又、明日からの活力を頂き、心身共に健康で力一杯生きられる、そんな場所なんだ、と。今、世の中は目に見えない早さで進化している。このままでは、取り残される人間が、どれだけのいるだろうか。この地球から戦争をなくし全人類が手を繋ぐことは絶望なのか。人の輪が大きくなることを夢見て、祐善寺では老若男女が集まり、納涼祭が行なわれました。来年も再来年も、ずっと続くことを祈ります。

(野村明良)

ビンゴ大会は、子どもも大人も楽しみですね



ご案内

「年越し元旦参り」

左記の日程で、「年越し元旦参り」を勤めます。

皆様、大晦日にお寺で除夜の鐘をつきつつ一年を振り返り、年明けとともに、すがすがしい気持ちでご本尊に、ご挨拶しましょう!

★仏事で使用した不用品等を、ご持参下さい!

★午後十一時過ぎから点火される「かがり火」で焼却しましょう!

□持ち込まれるもの

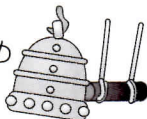
不要になった位牌、古ろうそく、内敷、お経本、お祓いを受けたお札、土産のこけし人形、一年のカレンダー

等々

日程

◆12月31日

- 23:00 集合・かがり火準備
- 23:10 かがり火点火
- 23:30 除夜の鐘撞き始め



◆新年元旦

- 00:00 正信偈お勤め
- 00:20 お勤め終了「一年の計」表明
- 00:30 解散



花だより

日に映えて

蝶も寄り来る彼岸花

軍一

今回の花だよりは彼岸花です。写真は、我が家の近くにある仏性寺の境内で撮らせて頂きました。今まさにシャッターボタンを押そうとした、その時です。『ちょっと待って…。私等も入れて。』という可愛い声が聞こえてきました。



ね、さて、誰だろうかと思って見ると、二羽のアゲハチョウが大急ぎで飛んで来たのでした。私は「シメタ！イイ写真が撮れるぞ。」と嬉しくなって、思わずパチリとやったのです。が…、家へ帰って調べてみたら残念ながら一羽しか写っていませんでした。もう一羽の方は、丁度花の下の方へ入ったところだったのでしょうか。残念でした。確かにイイ写真が撮れたと思ったのに…。

でも、それで良いのです。私の心の中の写真には、確かに二羽の蝶が仲睦まじく乱舞する様子が写っているのですから…。

この赤く燃えるような彼岸花の球根には、毒が含まれているらしいね。それで、モグラなどの被害からお墓を守るために、この花が墓地にも植えられていたらしい。

でもね、別の資料には、一八三三年から三年も続いたというあの天保の大飢饉の際には、この植物のお陰で生き延びた人が少なくないと書かれています。毒が人の命を救う？と不思議に思っただけでみたら、この球根をすり下ろして何度も水にさらせば毒が消えて、

食用にもなると書いてありました。

話は変わりますが、私はこのお寺の境内に立つと何時も頭に浮かぶ懐かしい思い出があるのです。

私は就学前の農繁期には、多忙な母に代わってこのお寺の尼さんに保育して頂いたのです。それは戦時中のことですが、私は今もそのご恩は忘れません。このお寺は五十年余り前から無住になったので、今は正月にだけ誰も居ないお御堂の中へ入ってお参りをさせて頂いています。懐かしい尼さんの声に、傘寿になった今も我が身を励まされるような気がして嬉しくなるのです。そしてちよっぴりだけ、元気も出てくるような気にも…。



野村明良

法要は 人の心を 繋ぐ糸

大晦日 常に我が身の

蕎麦におけ

寺の末 担う子らとの 納涼祭

平成29年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に互って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようよろしくお願ひします。

◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相統講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座

(〇〇七七〇—九—三〇七二—)

・ 加入者〓祐善寺)

へ振り込む

◇志納期限

毎年十一月末日

駐車場が完成!

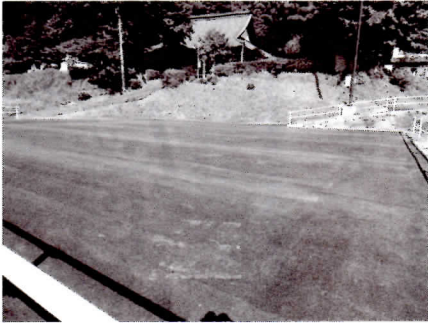


祐善寺境内下の農地を買収して、駐車場用地として整備してきましたが、先日、舗装工事も完成し、九月四日、福井地方法務局武生支局において、前所有者から祐善寺への所有権移転の登記も完了しました。

これまで、大きな行事の時には、境内で駐車しきれないために、皆様にご迷惑をおかけしてきましたが、これによって、駐車スペース不足は解消されることとなります。

また、県道から寺への川沿いの進入路も狭く、運転手の皆様からは、狭くて怖いと悪評をかってきましたが、近々、川をふさいで道幅を広くする工事が施工されます。

どうか、精々、お車でご参詣下さいますよう、お願い申し上げます。



アスファルト舗装で整備された駐車場

炎天下での草刈奉仕 作業に感謝

今年は、七月十六日(日)午前八時から当番地区である小倉、大城野地区に有志の方々により、取り行われました。

七月に入り、盛暑日が続いており、この日も朝から強い日差しが照り返してました。広い境内、伸びきった雑草と過酷な条件の中、慣れた手付きで玉の様に流れる汗を拭いながら、黙々と作業に当たって頂きました。門徒さんの、皆で自分達のお寺を綺麗にしようという思いが一つになって、予想以上に早く終わる事が出来ました。

暑い中での奉仕作業、本当に充実感のある一瞬です。

今回、新たに駐車場も整備され、納涼祭に向けていい準備が出来たとの声がありがとうございました。



参加して頂いた皆様方の熱い思いに感謝!
(松島 守)



参加者募集 本山報恩講 福井教区団体参拝

毎年十一月二十一日から二十八日まで本山・東本願寺で御正恩報恩講が厳修されます。

今年も、福井教区より団体参拝することになりました。

左記のとおり団体参拝参加者を募集しますので、参加ご希望の方は、祐善寺までお申し込み下さい。

日 時 十一月二十七日(月)
日帰り

交通手段 大型バス

参加費 四千元

募集人数 四十名(各組)

備考

参加定員がありますので、お早めにお申込み下さい。

バス乗車地、時間等、詳細については、参加申込者に後日、ご連絡させて頂きます。

皆様の参加申込みを、お待ちしております!

おくやみ

坂下ツヨ子様(坂井市春江町)には、平成二十九年八月二十四日、行年九十七歳にて往生の素懐を遂げられました。
ご生前のご功勞に、心より深謝申し上げます。



投稿・お便り募集

『祐善寺だより』は次号で、発行第四十号を迎えます。平成十二年二月に創刊して、満十八年になります。これを機に、『祐善寺だより』が更に多くの方々によって支えられ、支持され、読み継がれていくことを、心から願っています。

次号より、「投稿ページ」を設けますので、皆様からの「おたより(花だより)」「写真」「俳句」「旅行記」「読書感想文」「つぶやき」「政治へひとこと」等々、広く投稿をお待ちしております。肩肘張らずに、気軽に投稿して下さいますよう、願います。



第八回

親鸞聖人御絵伝 信心諍論



親鸞聖人三十四歳の時、吉水の禅房で、聖信房、勢観房、念仏房などに、法然上人の多くの門弟がおられたときに、親鸞聖人が、「法然上人の信心も私の信心も、如来より賜った信心で、全く同じ信心である」と、申し渡されたことで、門弟たちと論争が起こった時の一場面です。

の信心と同じということはない。」と言って、親鸞聖人をとがめるように反論しました。そこで親鸞聖人は、「師、法然上人の知恵才覚や学問の深さと同じと言えば傲慢で、おそれ多いことだ。しかし、往生の信心については、法然上人の信心も私の信心も、如来より賜った信心だから同じだ。」と答えましたが、なかなか決着がつかず、直接、法然上人に尋ねてみるや、法然上人は、「他力の信心は、如来様より賜る信心だから、私の信心も親鸞の信心も同じだ。信心に違いがあると思っている人は、私が参るお浄土へは、参られないだろう。」と、仰った。それを聞いた門弟たちは、とうとう口をつぐんでしまったのです。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讀えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞に著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟子西仏房の孫、淨賀法眼に描かれています。

詞の部分を「御伝鈔」、絵の部分を「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。(参考文献「親鸞聖人伝繪」)

其の35



御布施

葬儀には、住職に差し上げる包みもの(御布施)も準備しなければなりません。今回は、この「御布施」についてお話しします。

- 1. 布施(仏さまの教えを説き聞かせること)
 - 2. 財施(衣食などを施すこと)
 - 3. 無畏施(畏れない安心を施すこと)
- 住職に差し上げる御布施は、この財施にあたります。

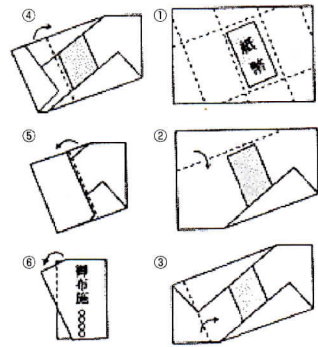
日ごろの私たちは、品物やサービスの売買という経済感覚(利潤の追求)で物事を計ってしまいます。御布施に関して、「いくらお包みしたらよいのですか」という質問をよく受けますが、この感覚も同じように思えます。そしてこの感覚は、仏教が伝えてきた人間のいのちそのものにも値段をつけてしまうことになるのです。本来、人間

の尊いのちには値段をつけられるものではありませんし、ましてや、他人にも決められるものではないのです。

故人は死をとおして、「人はみな死ぬ」という事実を身をもって教え、「これからどのように生きるのですか?」「という、大切な問いを投げかけてくださいました。その問いに答えることは、生きていくことに心から喜べる生活に目覚めることなのであります。この目覚めこそが、尊いのちに生きる新しい「私の誕生」を意味するのです。尊いのちにあい得た法施の喜びは、喜んで捨てるという財施の心を生みます。ですから、大切な人を亡くした大きなご縁に差し上げる御布施は、亡き人への、そして仏さまへの精一杯の報謝の気持ちを表すものなのです。

さらには、その尊い志は仏法に生きる新たな人を生み育てることに繋がります。このような意味から、包みもの(金封)の上書きには、「御経料」や「読経料」ではなく「御布施」と書くのです。

御布施の包み方の一例



(「サンガ」より)

半紙などで包み、数字の順に折る。市販の金封を使う場合は、黒白の水引を使う。表書きは、「御布施」と書く。

お知らせ

報恩講御案内

十一月二日(木)

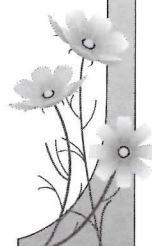
日中 午前十時

御齋とき 午前十一時半

速夜 午後一時半

法話 出雲路善公師

つきましては、親鸞聖人の御遺徳を偲び、右の通り報恩講を厳修いたしますので、万障お繰り合わせの上、御家族、御近所、御法友お誘い合わせの上、何卒御参詣下さいますよう、御案内申し上げます。



ボランティア募集!!

雪囲い作業奉仕

と き 11月12日(日)

8時集合(午前中)

持 物 鎌(カッター)、軍手、合羽(悪天時)等

昼 食 用意します。

傷害保険 加入します。

作業内容

雪囲い作業は、高所での作業ばかりでなく、高所が苦手な方は、下で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、ご都合のつく方は、是非ご協力をお願いします。

お願い

甚だお手数ながら、ご協力いただけます方は、前日までに、地区役員、もしくは祐善寺へご連絡下さいますよう、お願いいたします。



婦人部活動にご協力下さい

毎年、報恩講を前にして祐善寺門徒会婦人部による、本堂、庫裡周辺の清掃作業が実施されます。

五年目となる今回は、左記のとおり実施しますので、女性の方のみならず、男性の方でも、ご協力頂ける方は、是非、ご協力下さいますよう、お願いいたします。

皆で力を合わせて、お寺の報恩講をお迎えしましょう。

記

日 時

十月十五日(日)

午前九時集合

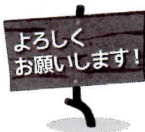
活动内容

本堂・庫裡のガラス拭き作業、拭き掃除等

持ち物

古手拭・古タオル等

★男性の方も大歓迎です!



編集後記

★よく聞く言葉ですが、野党は「森友・加計問題」を隠蔽する大義なき解散・総理の自己保身解散だと批判。(事務方の皆様大変ですね。)

また、総理は、北朝鮮への圧力路線での対応。後付けの消費税収の使途変更に関し国民に信を問う「国難突破解散」と位置付け、国会追及を逃れる解散とした。

しかし、私が思うには、衆議院解散に大義は必要ですかね。必要ないと思います。解散権には、そんな言葉はどこにもできません。(代議士の先生方勘違いをしているのでは?)

解散総選挙は、「現在の政府の姿勢を民意に問う」。これが大義ではないでしょうか?

逆に、今回の選挙程良く分かる選挙ではないでしょうか?

「国難突破解散」と言い切る安倍総理がいいのか、それと、現在の連立政権がいいのか。それともダメなのか。読者の皆様はどっちの思いかな?

それと残念なのは、世界の情勢が不安定な時に解散し、政治の空白期間を一ヶ月も作るよつではダメですよね。

★報恩講には、皆様、お誘い合わせでご参詣下さいますようお願いいたします。

(上野三千男)